



# 2026年3月期 通期 決算説明会資料

2026年5月14日  
ホシデン株式会社

# Agenda

- 1部 2025年度 通期 業績概況
- 2部 2026年度 業績予想
- 3部 トピックス



- 1 部 2025年度 通期 業績概況
- 2 部 2026年度 業績予想
- 3 部 トピックス

## 2025年度 業績概況

### ・通期実績：増収増益

売上高	前年通期累計	▶	当期通期累計	差異	アミューズメント +2,086億円 移動体通信 △83億円 輸送機器 +29億円 その他 △25億円
	2,476億円		4,483億円		
営業利益	前年通期累計	▶	当期通期累計	差異	*営業外為替差益 前期： 45百万円 当期： 4,182百万円
	135.7億円		192.4億円		
為替レート	152.56円/USD		150.78円/USD		

### ポイント

- ・売上高は、移動体通信向け及びその他市場向けの減少があったものの、アミューズメント向け販売が非常に好調であったこと及び輸送機器向けの増加により、全体では前年度対比約1.8倍の4,483億円となりました。
- ・利益面では、主にアミューズメント向け売上の伸長により、営業利益は41.7%増の192.4億円となりました。また、経常利益は為替差益が約42億円あり、66.8%増の246億円となりました。
- ・当期純利益は過去最高益となり162億円でした。配当性向は30%としておりますので、期末配当金は73円となり、中間配当金25円とあわせて年間配当金は98円を予定しております。

## 2025年度 通期実績：使用機器別売上高

	2024年度 通期 (百万円) (%)		2025年度				前年同期比	
			上期 (百万円)	下期 (百万円)	通期 (百万円)	(%)	(百万円)	(%)
アミューズ	145,479	58.7	197,162	156,900	<b>354,062</b>	<b>79.0</b>	+208,583	+143.4
移動体通信	54,231	21.9	23,985	21,918	<b>45,903</b>	<b>10.2</b>	▲8,328	▲15.4
輸送機器	30,629	12.4	15,589	17,990	<b>33,579</b>	<b>7.5</b>	+2,950	+9.6
その他	17,232	7.0	8,690	6,016	<b>14,706</b>	<b>3.3</b>	▲2,526	▲14.7
合計	247,571	100.0	245,426	202,824	<b>448,250</b>	<b>100.0</b>	+200,679	+81.1

## 2025年度 通期実績：使用機器別売上高

アミューズメント  
3,541億円

前年同期比： **+2,086億円 (+143.4%)**

→主要顧客の新製品の販売が好調

移動体通信  
459億円

前年同期比： **▲83億円 (▲15.4%)**

→主要顧客向けの販売が前年度Q1で非常に好調であったこと、及び25年度に一部の中級機種向けのシェアダウンが影響（26年度は後継機種の受注獲得）

輸送機器  
336億円

前年同期比： **+29.5億円 (+9.6%)**

→主に日系自動車メーカー向けの機構部品の販売増加による

その他  
147億円

前年同期比： **▲25.3億円 (▲14.7%)**

→ウェアラブル向けの増加があったものの、医療、健康関連向け及びAV機器関連向けの減少による

- 1 部 2025年度 通期期 業績概況
- 2 部 2026年度 業績予想
- 3 部 トピックス

## 2026年度 業績予想

### ・26年度 上期予想

売上高	25年度 上期実績	▶	26年度 上期予想	差異 △74億円 (△3.0%)	アミューズメント	△110億円
	2,454億円		2,380億円		移動体通信	+30億円
営業利益	25年度 上期実績	▶	26年度 上期予想	差異 +15.1億円 (+18.5%)	25年度上期はQ1での急激な円高による営業利益の押し下げがありましたが、26年度は影響がないものとして予想しております。	
	80.9億円		96.0億円			
為替レート	146.04円/USD		155円/USD			



### ・26年度 通期予想

売上高	25年度 通期実績	▶	26年度 通期予想	差異 △123億円 (△2.7%)	アミューズメント	△209億円
	4,483億円		4,360億円		移動体通信	+70億円
営業利益	25年度 通期実績	▶	26年度 通期予想	差異 △12.3億円 (△6.4%)	営業利益は前年度比で6.4%減の180億円と見込んでおります。	
	192.3億円		180.0億円			
為替レート	150.78円/USD		155円/USD			

## 2026年度 業績予想

	2025年度 実績 (百万円) 利益率(%)		2026年度				増減	
			上期予想 (百万円)	下期予想 (百万円)	通期予想 (百万円) 利益率(%)		(百万円)	前年比(%)
売上高	448,250	-	<b>238,000</b>	<b>198,000</b>	<b>436,000</b>	-	▲12,250	▲2.7
営業利益	19,236	4.3	<b>9,600</b>	<b>8,400</b>	<b>18,000</b>	<b>4.1</b>	▲1,236	▲6.4
経常利益 (営業外為替)	24,644 (+4,182)	5.5	<b>9,100</b> (▲1,000)	<b>8,900</b> (-)	<b>18,000</b> (▲1,000)	<b>4.1</b>	▲6,644	▲27.0
当期純利益	16,206	3.6	<b>6,400</b>	<b>6,100</b>	<b>12,500</b>	<b>2.9</b>	▲3,706	▲22.9

## 2026年度 業績予想

売上  
4,360億円

- ・ 次ページ以降の通期予想：使用機器別売上高参照。

営業利益  
180億円

- ・ 25年度はQ1での急激な円高による営業利益の押し下げが約24億円ありましたが、26年度は想定レートを155円としており、営業利益への為替影響がないものとして予想しております。

経常利益  
180億円

- ・ 25年度は営業外で受取利息・配当金が約12億円、為替差益が約42億円ありましたが、26年度は営業外で受取利息・配当金約10億円（上期5億円、下期5億円）、為替差損約10億円（上期）を想定しています。

## 2026年度 業績予想：使用機器別売上高

### アミューズメント

・ 3,541億円→**3,332億円**（前期比▲5.9%）

→主要顧客向けの売上の減少を想定。

### 移動体通信

・ 459億円→**529億円**（前年同期比+15.2%）

→主要顧客向けの需要増加及びシェア回復を見込む。

### 輸送機器

・ 336億円→**359億円**（前年同期比+6.9%）

→主に機構部品の伸長を見込む。

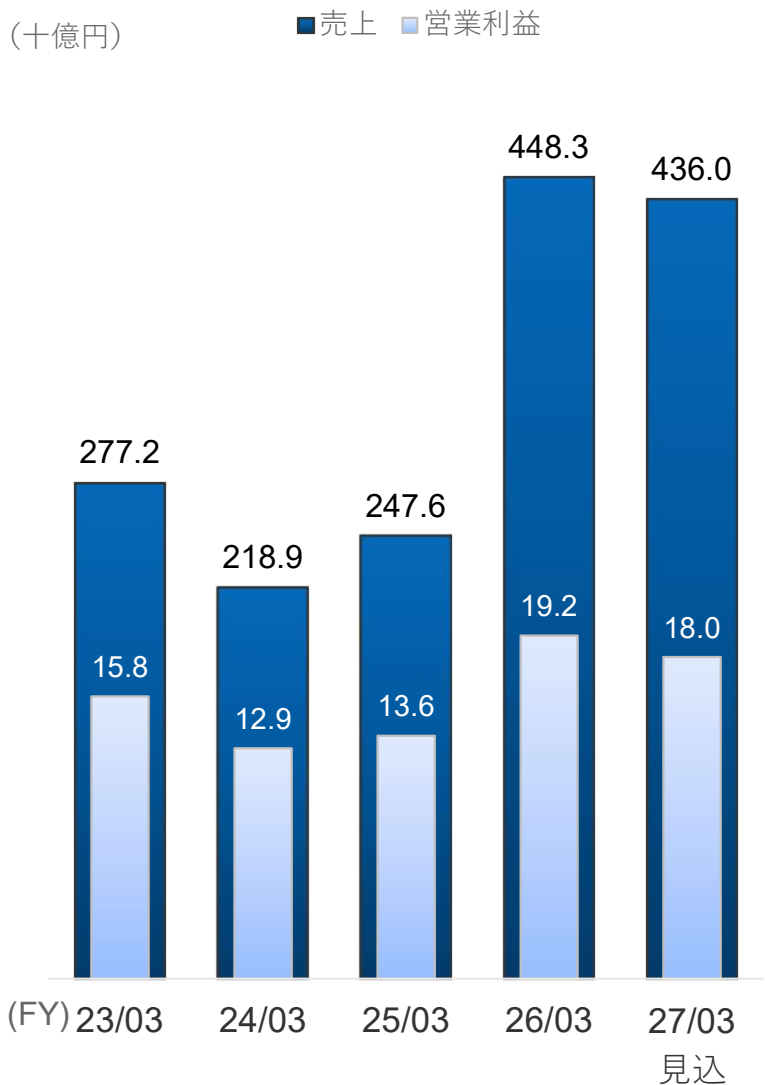
### その他

・ 147億円→**140億円**（前年同期比▲4.8%）

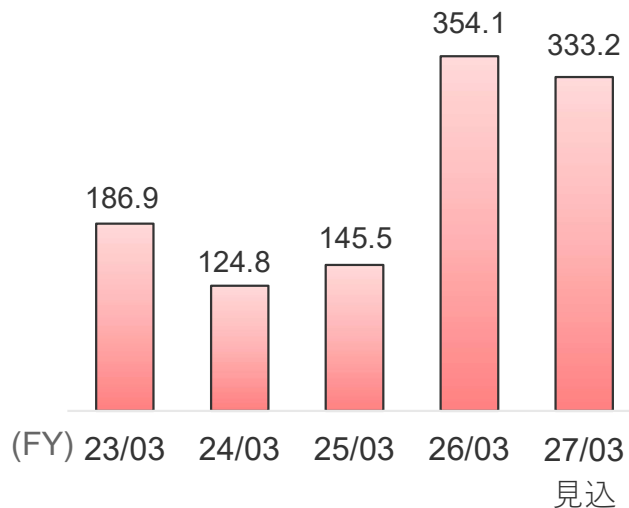
→医療・健康関連向けの回復を見込むものの、AV機器関連向けが減少見込み。

## 使用機器別売上高推移

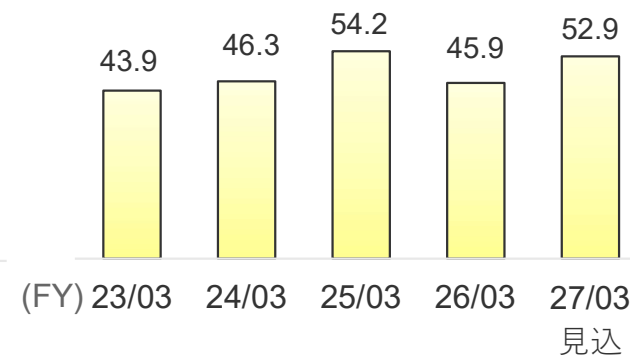
### 売上高・営業利益



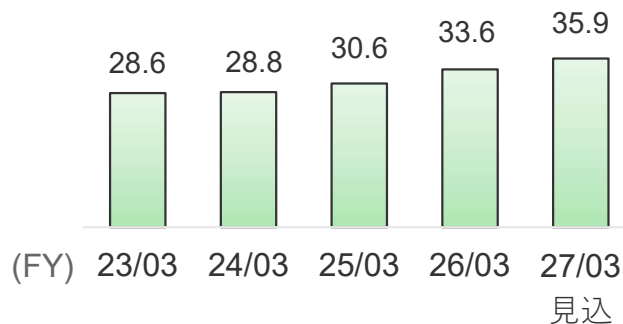
### アミューズメント



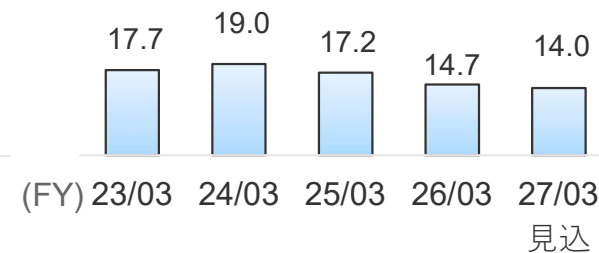
### 移動体通信



### 輸送機器

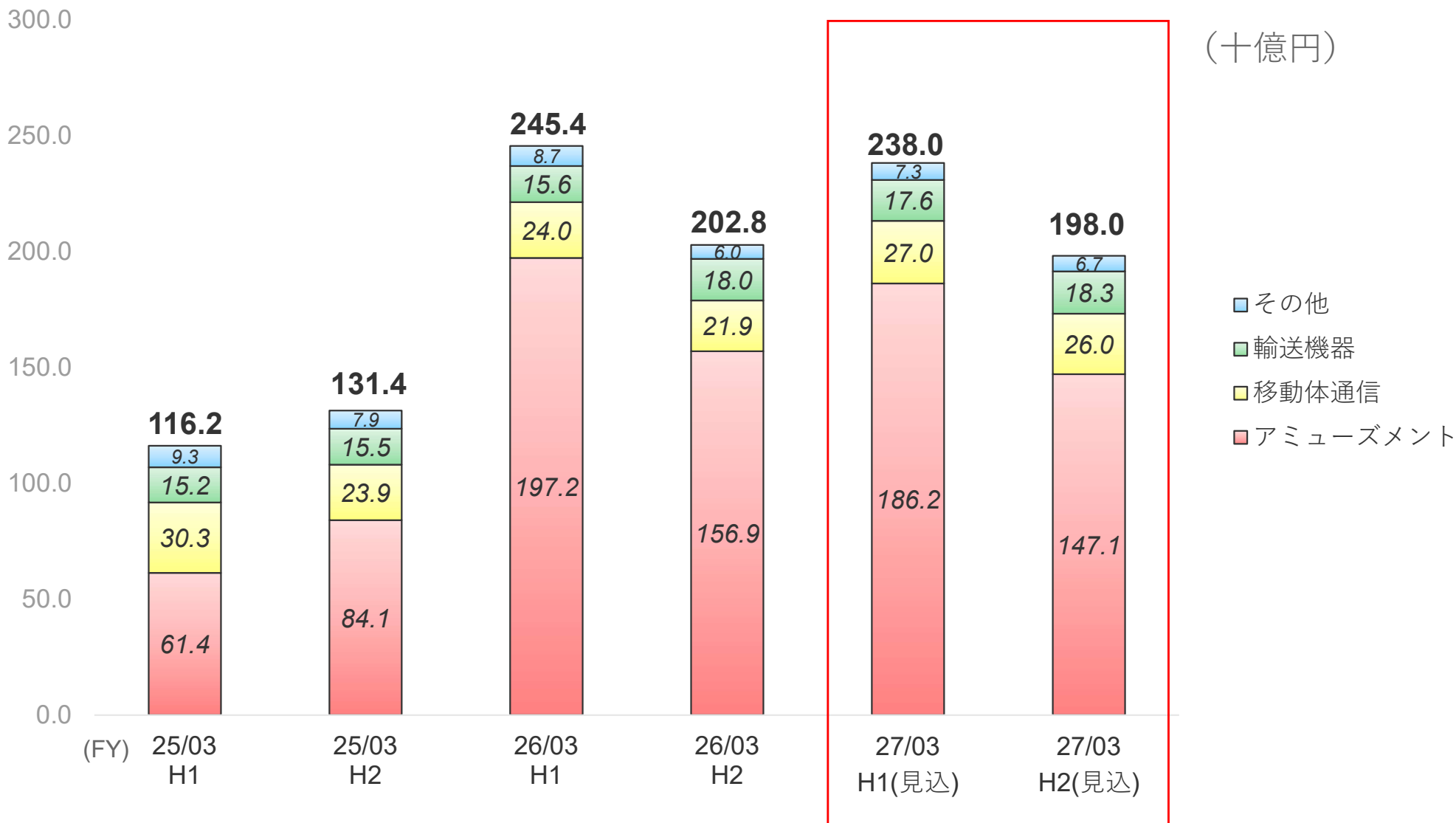


### その他



## 使用機器別売上高（半期毎）

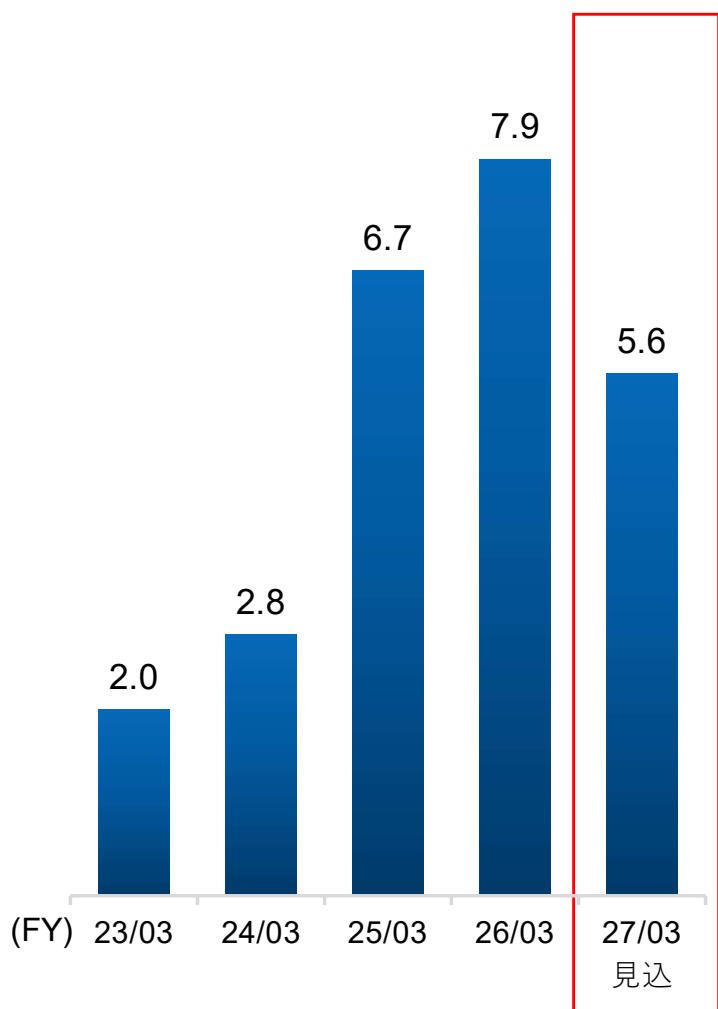
### 売上高



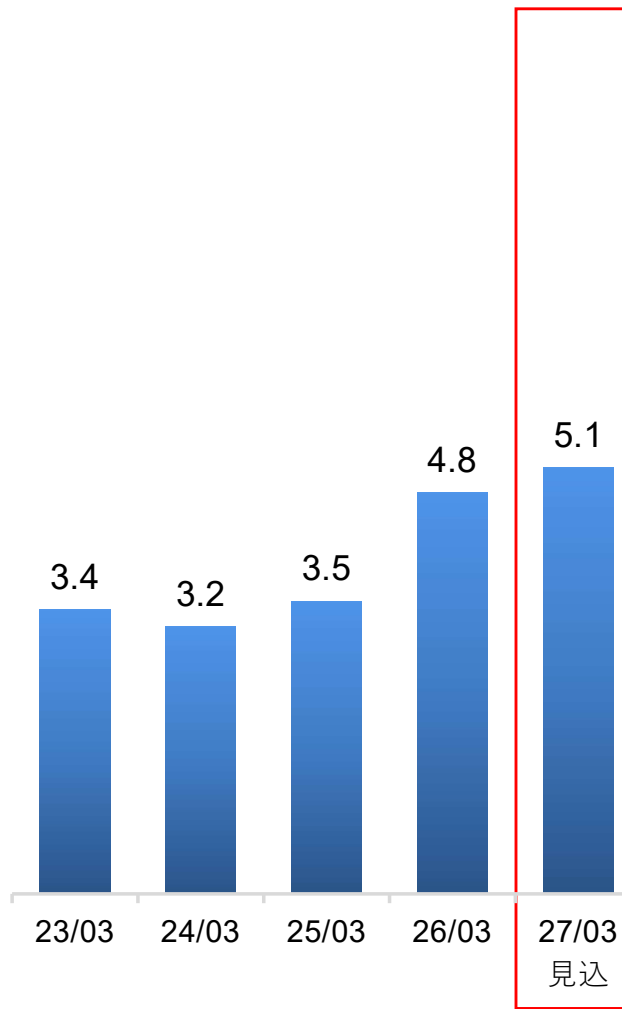
# 設備投資額・減価償却費・研究開発費 通期見通し

(十億円)

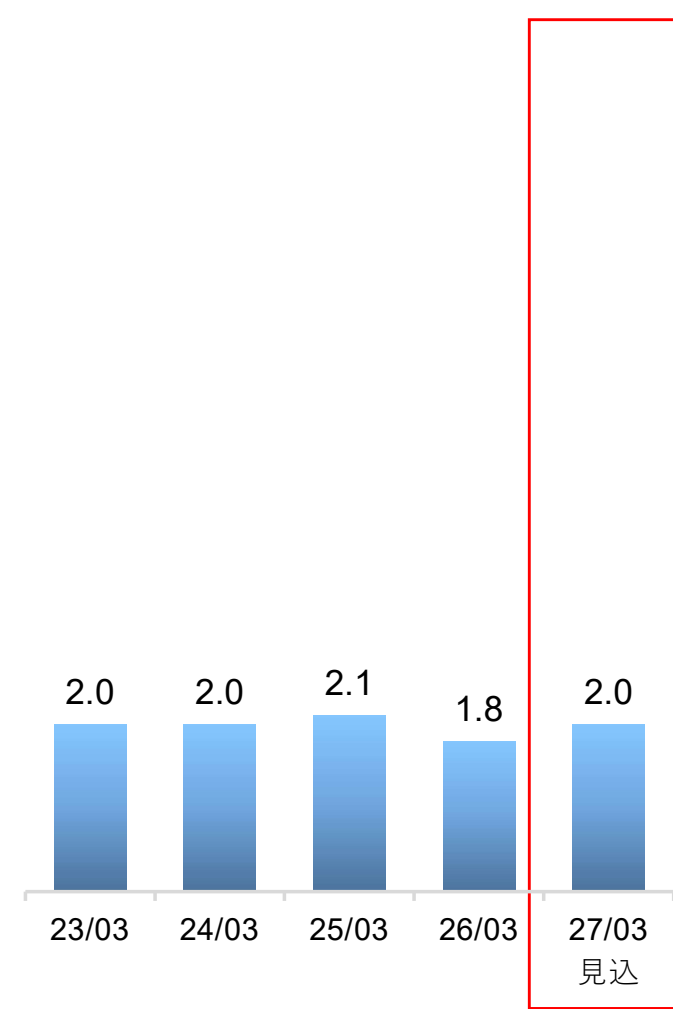
## 設備投資額



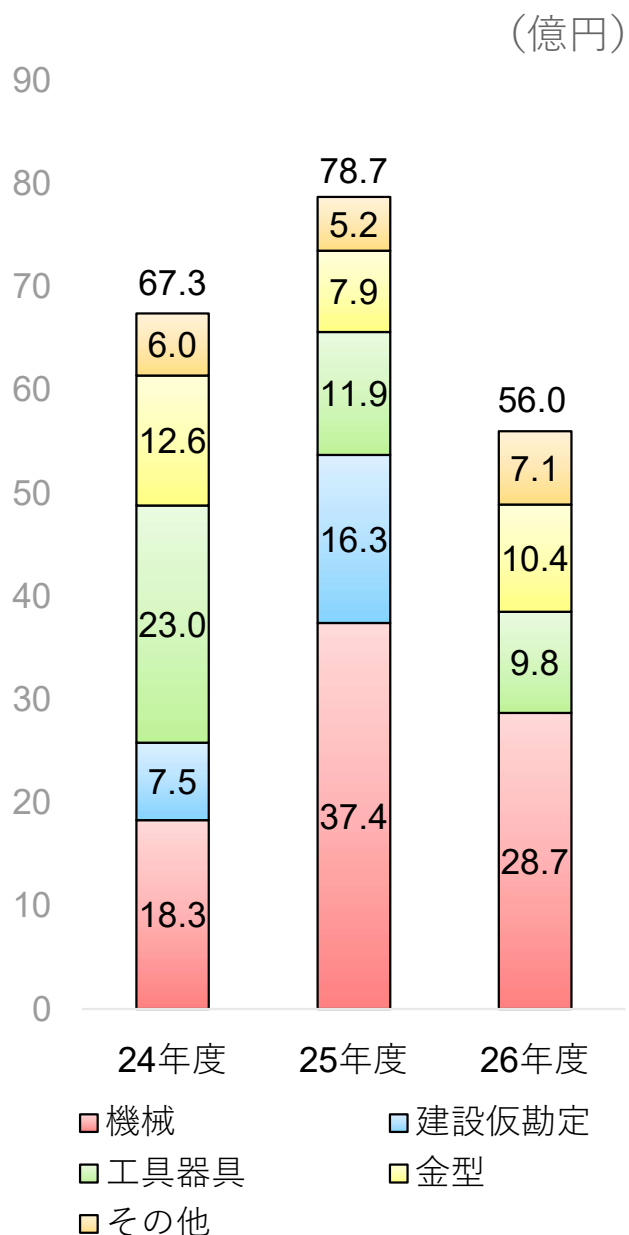
## 減価償却費



## 研究開発費



## 設備投資



年度	主な投資目的
24	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主にアミューズメント向け新製品の生産開始に伴う機械、工具器具、金型投資が発生。</li> <li>・アミューズメント向けベトナム新棟建設に伴う建設仮勘定が発生。</li> <li>・移動体通信向け自動化投資。</li> <li>・輸送機器及びその他市場向け。</li> </ul>
25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主にアミューズメント向け新製品の増産及び内製化に伴う機械、工具器具、金型投資が発生。</li> <li>・アミューズメント向けベトナム新棟建設に伴う建設仮勘定が発生。</li> <li>・移動体通信向け自動化投資。</li> <li>・インド工場立ち上げに伴う建設仮勘定が発生。</li> <li>・輸送機器及びその他市場向け。</li> </ul>
26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主にアミューズメント向け新製品の内製化及び自動化に伴う機械、工具器具、金型投資の発生を予想。</li> <li>・移動体通信向け自動化投資。</li> <li>・輸送機器及びその他市場向け。</li> </ul>



- 1部 2025年度 通期 業績概況
- 2部 2026年度 業績予想
- 3部 **トピックス**

**通期 最終利益レコード更新**

(単位:億円)

	<b>最終利益</b>
<b>2000年度 (レコード)</b>	<b>145</b>
<b>2025年度</b>	<b>162</b>

\*2025年度の当期純利益は2000年度のレコードを更新しました。

## キャッシュポジション

	2023	2024				2025			
	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	41.4	57.9	58.3	63.6	67.8	116.3	129.1	129.6	73.2
運転資金*	40.8	44.8	47.4	54.0	69.2	78.0	75.1	72.2	64.8
ネットキャッシュ	75.9	73.7	70.9	58.9	48.3	38.9	48.6	58.5	68.2

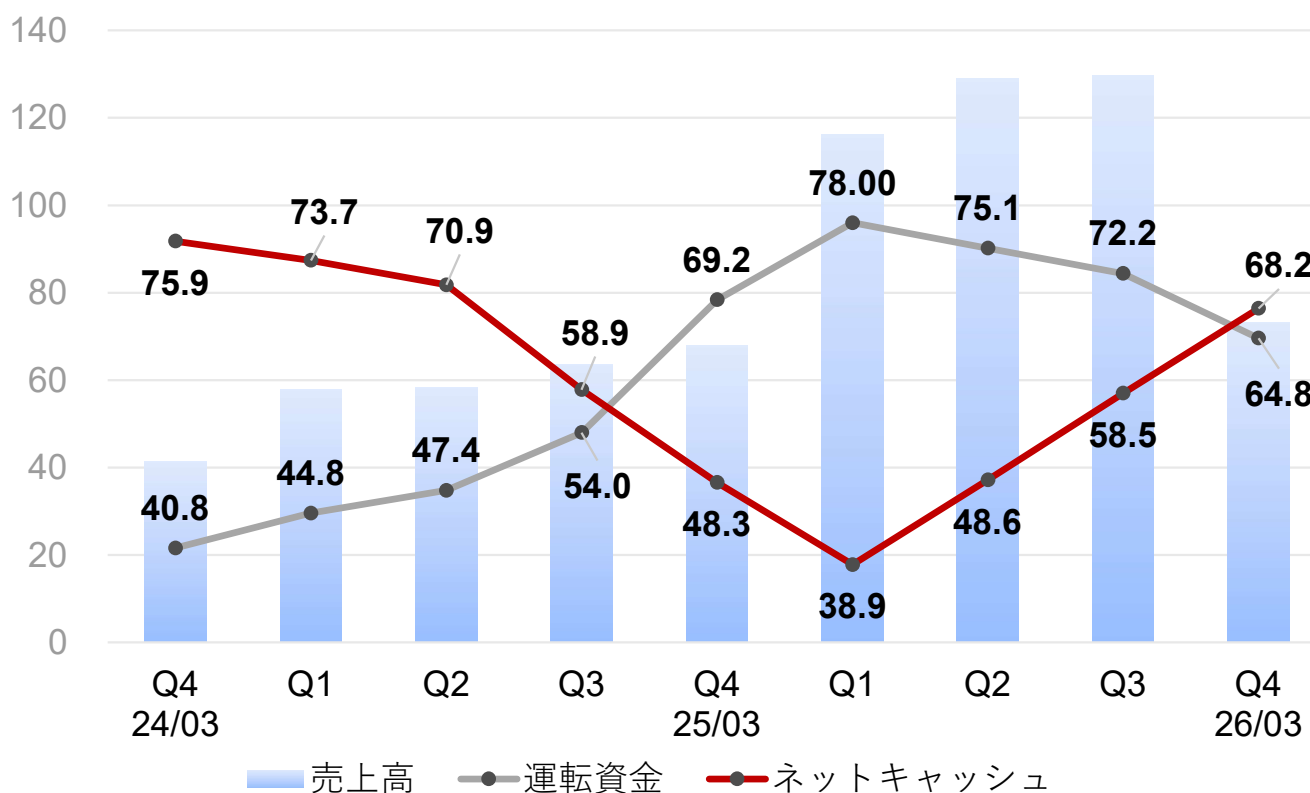
(十億円)

\* (売掛金 + 外注先未収入金 + 在庫) - 買掛金

### 【説明】

売上（水色棒グラフ）の上昇局面では必要運転資金（灰色折れ線）が増加し、極端にネットキャッシュ（朱色折れ線）は減少します。キャッシュが不足する際には外部からの資金調達は極力避け、グループ内の資金を融通しあうことにより、ROAの悪化を防いでいます。

2026年度上期に季節性による売上増加を想定した場合、Q2にはネットキャッシュが極端に減少すると予想しています。



# 株主還元 現状と目標

1株当たり  
期末配当額

## 【配当方針】

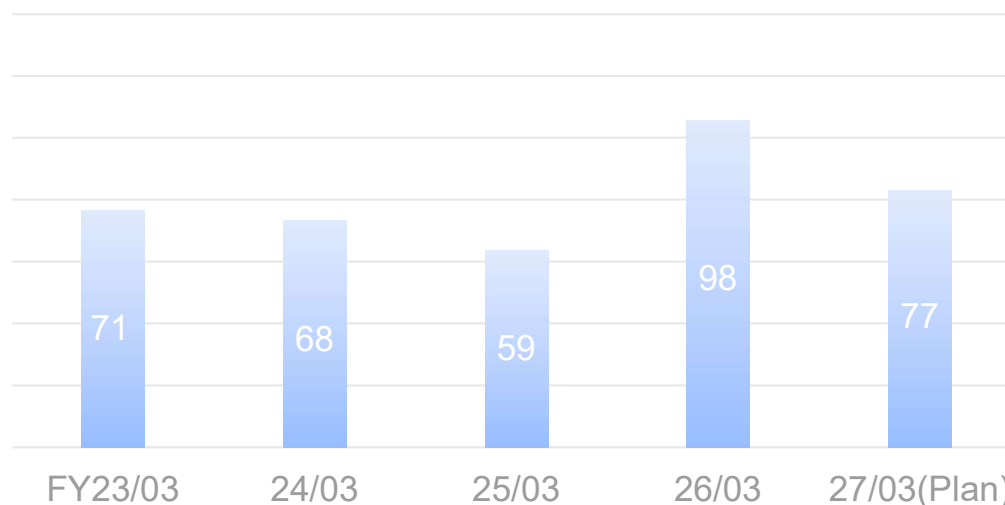
**安定配当**

・ 配当性向30%を設定

2026年度 **77円/年**  
(25年度 98円/年)

単位：円

■ 配当金

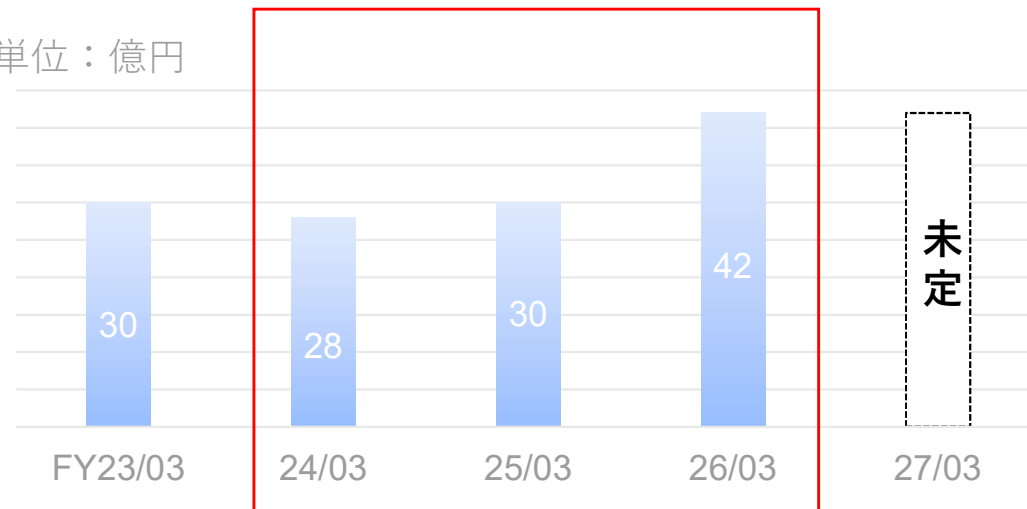


自己株取得

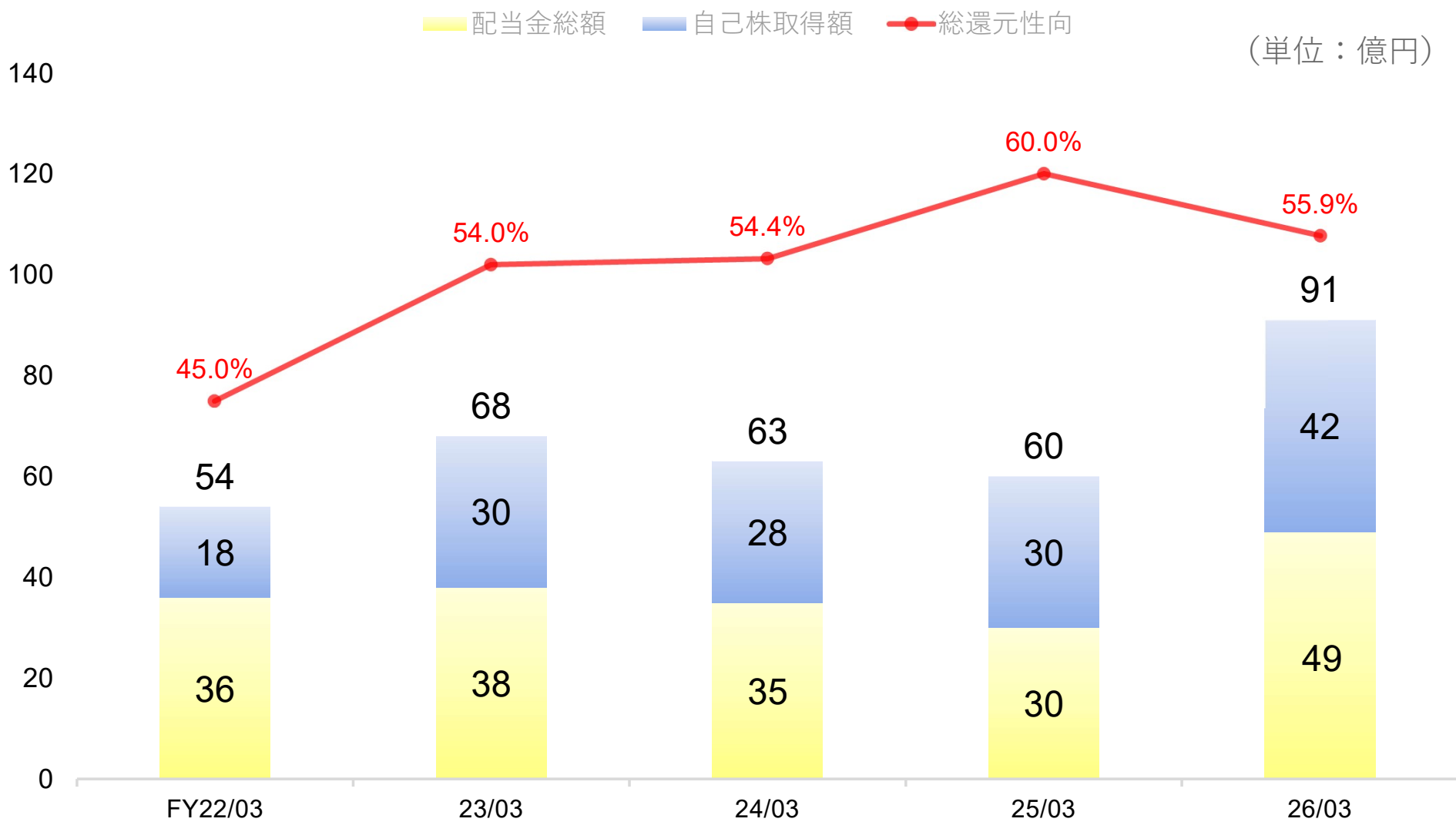
## 【自己株式取得方針】

・ FY26/03までの3年間で累計100億以上の取得、消却を達成。

単位：億円



## 株主還元 総還元性向



一株当たり 年間配当額	65円	71円	68円	59円	98円
----------------	-----	-----	-----	-----	-----

## ベトナム 新工場

### 建設目的

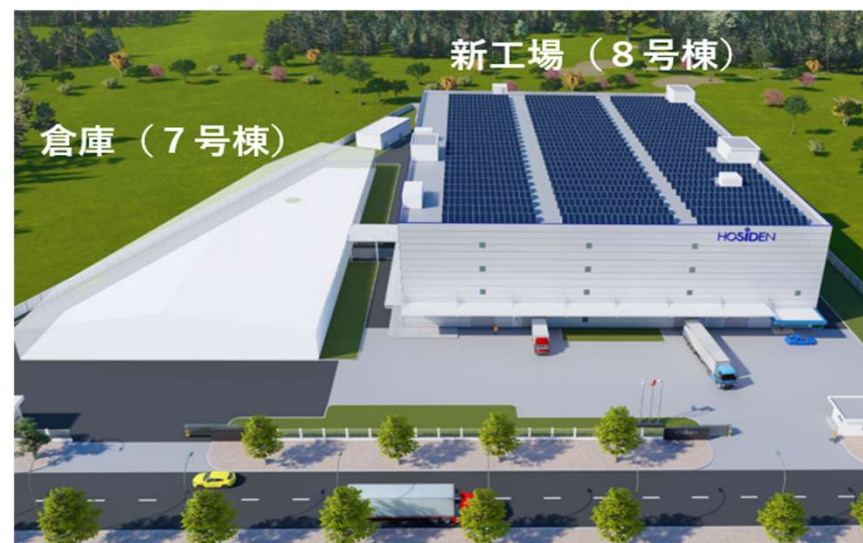
- ・生産能力の増強（過去には6か所あった中国工場が2026年度より2か所）
- ・米国での関税対策も含め中国以外の国・地域での拡張

### 新工場について

- ・ホシデンベトナム（バクニン省）の8号棟を建設
- ・床面積 24,000㎡（1フロア6,000㎡×4フロア、屋上には太陽光パネルを設置予定）
- ・2026年3月稼働開始（太陽光パネルは2026年夏頃稼働開始予定）



ホシデンベトナム8号棟（バクニン省）



8号棟太陽光パネルイメージ図

## インド 新工場

### 建設目的

- ・インド国内での生産及び、インド国内外への販売拡大

### 新工場について

- ・当初は車載用マイク及び、空調用リモコンの生産販売を行う予定。
- ・事務棟3階建、生産棟2階建
- ・2025年度着工、2026年度稼働予定



工場イメージ図

# 太陽光パネル設置の様子

## 稼働中



ホシデン和歌山(株)



ホシデン九州(株)



ホシデンベソン 第一期 (英国)



ホシデン東京事業所

## 稼働中



ホシデン本社5号館

## 2026年夏頃稼働予定



ホシデンベトナム (バクニン省)  
(8号棟イメージ図)



ホシデンベトナム (バクニン省)  
(1,2,3号棟)

# カーボンニュートラルに関する取り組み

## CO2削減目標

### 【SBT水準のCO2排出量削減目標】

- ・ 中間目標：2030年度末までに2023年度基準で総排出量42%削減(Scope1,2)  
2030年度末までに2023年度基準で総排出量25%削減(Scope3)

拠点	年間CO2削減量	CO2削減率	稼働時期
ホシデン和歌山(株)	83 ton	38.10%	2022年10月
ホシデン九州(株)	180 ton	15.19%	2023年2月
ホシデンベソン	31 ton	37.57%	2023年4月 (第一期) 2023年9月 (第二期)
ホシデン東京事業所	39 ton	33.07%	2024年9月
ホシデン本社5号館	96 ton	8.22%	2024年12月
ホシデンベトナム(1,2,3号棟)	630 ton	3.69%	2026年夏頃
ホシデンベトナム(8号棟)	700 ton	4.10%	2026年夏頃

※上記とは別に2014年4月よりホシデン本社3号館屋上で太陽光パネル稼働

事務所・生産棟照明のLED化、再生可能エネルギーを使用した電力の購入等にも取組中



- **CDP (Carbon Disclosure Project) スコア**
- CDPとは2000年にイギリスで発足した国際NGO (非政府組織)
- 機関投資家だけでなく個人投資家が投資先企業を選定する基準の一つ

### ホシデンのCDPにおける評価の推移

年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
CDP 評価 (気候変動)	D-	D-	D	D-	D-	D-	D	C	B	B	B

更なるランクアップを目指します。

※本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、現在入手可能な情報による当社の判断に基づく将来の予測であり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。さまざまな潜在的リスクや不確定要素を含んでおり、実際の業績はさまざまな重要な要素により、記載された見通しと大きく異なる可能性もあり、これらの見通しに過度に依存されないようお願いいたします。



## THANK YOU !

<https://www.hosiden.com/>

